



宮西 健吉(みやにしけんきち)議員

一問一答

## 小松駅東口に「変なホテル」

**Q** このホテル建設について、9月議会の内示会、8月27日会派代表者会議で一度「全員協議会での説明」を求めている。市長はなぜ説明しないのか。

**A** 全体計画が策定された段階で小松駅周辺デザイン検討会に諮り、議員や市民の意見聴取を行う予定である。

**Q** このホテルの経緯と内容について詳細に説明を。

**A** 「場所」旧日の出1号公園地内。「規模」木造3階建、延べ床面積約3,000㎡、客室109室。「スケジュール」令和元年7月ホテル進出表明、委員会に報告。8月 都市公園廃止。9月定期借地権設定契約。11月建築確認、工事着手。令和2年開業予定である。

**Q** 契約内容と賃料は。平米当りの単価は。

**A** 貸し土地面積1、660㎡、契約期限20年。賃料は市の財務規則により計算している。

**Q** 賃料をなぜ言えないのか。このホテルは誘致なのか、進出なのか。

**A** 相手方の契約条件にかかるため。ホテル側の進出である。

**Q** 新幹線駅舎の外壁の高さは22m。建屋では何階なのか。都市公園(日の出1号公園)の廃止について都市計画審議会に諮ったのか。ホテルの進入道路は。

**A** 6〜7階相当。計画決定公園に属さないため審議会には諮っていない。駅東のロータリーで乗降するため、ホテル専用の道路は持ち合わせていない。

**Q** 公園用途変更までしてホテルとは。駅前の景観をどう思っているのか。

**A** ホテル進出により、照明やサイエンスヒルズとの通路が確保される等、駅前のブランド価値が増すものと考える。



小松駅東口(「変なホテル」建設中)

## 議会中継 録画配信中

小松市議会ホームページでは、過去の本会議の録画映像を配信しています。

昨年より、パソコンでの視聴に加えて、スマートフォン、タブレット端末からもご覧いただけるようになりました。ぜひご利用ください。



パソコンの場合はこちらから。

## 議員の香典を自粛します

小松市議会議員の申し合わせ事項として、香典を原則行わないこととし、近親者等関係が密な人に対しては、議員個人で判断することとしています。

# 常任委員会 審査報告

## 予算決算

委員長 杉林憲治  
副委員長 片山瞬次郎  
全議員所属

### 令和元年度小松市一般会計補正予算(第3号)について

#### ■市制80周年準備費について

㈱サンリオのキャラクター「ポムポムプリン」のオリジナルデザインや、グッズ制作の費用です。市制80周年における関連グッズを作成し、市全体の機運を高めていくものです。また、日本大学芸術学部と連携し、市制80周年のプロモーション動画を作成することです。市民向けだけでなく、観光と連携するなど広く小松市をPRしてほしいと求めました。

#### ■庁舎防災対策費について

台風15号・19号による各地の被災状況を鑑み、災害対策本部である市庁舎において、最大規模の洪水発生を想定して、庁舎内への水の浸入を防ぎ、被害を最小限とするため、出入口などに浸水防止板を配備するものです。万一を想定して、防水扉などさらなる対策の検討を進めていくよう求めました。

#### ■病児保育推進費について

南部地域に新たに病児保育ルームを開設するため、改修費用や保育士等の雇用にかかる経費等を計

上するものです。これまでなかった南部地域に開設されること、また、開設により市内での病児保育の定員が10名に拡大されることとなり、大変喜ばしいことであります。引き続き定員数の拡大を検討するよう求めました。

#### ■地域公共交通推進費について

地域交通の維持・利便性向上などに向けた路線バスの利用状況の調査にかかる費用を計上するものです。現在、市では日野自動車㈱と連携した実証実験を実施し、また、地域協議会が主体となった乗り合いワゴンが運行しています。今後、北陸新幹線の小松開業を見据えた駅や空港との交通ネットワークのあり方、山間部等における運行エリアの拡大などが求められており、多様な交通サービスの展開を検討することです。交流人口拡大の観点から、議会と足並みを揃えて進めていくよう求める意見が出されました。

#### ■社会教育費寄附金について

科学教育推進のため「仮称ヒルズ科学賞」を創設し、科学分野において優秀な成績を収めた青少年を表彰していくものです。児童生徒が受賞を目指す表彰制度となるよう求める意見が出されました。

#### ■航空プラザ魅力アップ費について

前政府専用機貴賓室を、航空プラザ展示室に還元し、展示整備するための費用です。航空プラザは

平成29年度には入館者300万人を達成し、令和元年度はトリップアドバイザーエクセレンス認証を5年連続達成、殿堂入りしました。施設整備にあたっては、石川県との連携を密にし、より魅力的な施設となるよう求める意見が出されました。

#### ■体育施設整備費について

競技環境の充実のため、末広屋外プールのスタート台、飛板飛込スプリングボード等の改修を行う費用です。積極的に大会を誘致するためにも、早急に整備を行っていくようにとの意見が出されました。

#### ■スポーツ振興費について

ラグビーワールドカップ等のパブリックビューイング開催補助や世界大会出場選手奨励金の費用です。パブリックビューイング開催については町内会等での開催も可能とのことであり周知して欲しいとの意見や、世界大会出場選手奨励金についても、世界で戦うための支援をしていくようにとの意見が出されました。

### 議案第68号 令和元年度小松市産業団地特別会計補正予算(第2号)について

#### ■安宅新地区土地区画整理費について

事業用地取得のための物件補償の費用で、小松空港周辺の臨空ゾーン

をさらに進化させるため安宅新町地内において土地区画整理を行うものです。移転事業を進めるにあたっては、丁寧な説明を重ねるよう求める意見が出されました。

### 議案第71号 令和元年度小松市下水道事業会計補正予算(第1号)について

#### ■固定資産購入費について

停電対策のための非常用電源として可搬型自家発電機を購入するものです。毎月1回の点検を行うっていくとのことですが、必要時に使用できるよう訓練を重ねていくよう求めました。

### 議案第72号 令和元年度国民健康保険小松市民病院事業会計補正予算(第1号)について

市民病院は南加賀で唯一、災害拠点病院の指定を受け、災害発生時における医療活動の基幹的役割を果たしていることから、さらなる浸水対策として浸水防止板の設置にかかる費用を計上するものです。現在、地下通路の出入り口にはすでに浸水防止板を設置していますが、さらに正面入り口等8カ所に設置し、浸水対策の強化を図るものです。浸水防止板の組立て訓練等を実施するなど人的ミスがないよう求めました。

## 総務企画

委員長	高野哲郎
副委員長	二木攻
委員	竹田良平
〃	出戸清克
〃	円地仁志
〃	宮西健吉
〃	宮川吉男
〃	表靖二

■議案第73号 小松市一般職の職員  
の給与に関する条例等の一部を改  
正する条例について

令和元年人事院勧告による国家公務員の給与と改定に準じて、一般職の職員の給与や勤勉手当の引き上げ、議会の議員及び特別職の職員の期末手当の引き上げを行うため、関係条例を改正するものです。

■議案第74号 工事請負契約について

小松市立芦城中学校空調復旧工事（機械設備）であり、平成9年度に建設された芦城中学校校舎の空調設備機器が、20年以上経過し老朽化したため、空調の復旧工事を行うものです。学習環境に配慮して、特別教室から工事に取り掛かり、普通教室は夏季休暇期間に行つたこととす。

■議案第75号 指定管理者の指定について

平成27年4月から5年間の指定期間が今年度末で終了するため、指定

管理者の指定をするものです。「江中央地区学習等供用施設」は、今江町町内会が、「上牧、下牧地区テレビ共同受信施設」、「島田、梅田、梯、美原、茶屋地区テレビ共同受信施設」は株式会社テレビ小松がそれぞれ指定管理者として管理運営を行つており、各々最適任であることから、引き続き5年間、指定管理者の指定をするものです。

■令和2年小松市消防出初式について

令和2年は市制80周年という節目の年です。最初の記念事業として、1月5日に市役所周辺で消防出初式が行われます。式典・街頭行進・観閲式・一斉放水が行われ、市制80周年をお祝いします。

■市有財産の貸付・売却について

小松駅東に建設中のホテルについて土地貸付の公有財産の適正な運用の観点から、価格の適性について詳細な報告を受けたこととす。

契約の状況について、全員協議会の場で詳細な説明を強く求める意見がある一方、全員協議会の開催は必要ないと強く反対する意見もありました。

今後、売買契約のみならず公有地の賃貸についても制度的に議会が審議できる環境づくりが必要ではないかとの意見がありました。

## 福祉文教

委員長	吉本慎太郎
副委員長	岡山晃宏
委員	吉田寛治
〃	新田寛之
〃	吉村範明
〃	橋本米子
〃	灰田昌典

■顔認証再来受付システムについて

市民病院では、令和2年1月から自治体の病院では全国初となる顔認証による本人確認システムを導入するものであります。これにより診察券が無くても受付から会計までスムーズに行つことが可能となります。

委員からは特別ブースの設置について、期間延長するなど柔軟な対応を求める意見や高齢者にも配慮した分かりやすい説明に努めるよう求める意見がありました。

■オリパラ食育フェスタ2019について

小松市をホストタウンとする6カ国の食文化等について関心を持つことなどを目的に、オリパラ給食メニューの試食や展示、クイズ等を実施するものです。考案されたレシピは、こども園等で提供されており、好評とのことでしたが、せっかくなので、好みが出来るので、継続して発展させるよう市内の飲食店等にも拡大し

てはどうかとの意見がありました。

■令和元年度小松市中学生サミットについて

中学生が主体となり、スマホなどの情報端末機器の安全な使い方について話し合い、ルールを決めていく自治的な活動です。

アンケートでは携帯電話などの所持率が、小学生でも高くなつていくという結果を受け、学校のほか保護者に対しても啓発を求める意見が出されました。

■指定管理者の指定についての議案が訂正されたことについて

施設の一つで、市外に所在地がある法人が指定され、初めて施設管理を受託することとなりました。

行政側から事前に地元への情報提供が不十分で、地域と法人との間の信頼関係が構築出来ない状況や、これまでの施設の役割を維持することに不安が生じたため、今後、制度を導入する際には、まずは地域への丁寧な説明を行うよう強く求めました。

このことから、今後、議案の提出にあたっては、一つ一つ審議出来るよう細分化して提出するよう強く求めるものであります。

## 経済建設

委員長	南藤 陽一
副委員長	東 浩一
委員	木下 裕介
〃	梅田 利和
〃	片山 瞬次郎
〃	川崎 順次
〃	杉林 憲治

### ■(仮称)小松ホテルの借地契約賃料について

小松駅東に建設中の(仮称)小松ホテルは開業を令和2年12月に予定し、契約期間は令和元年9月26日からの20年間で賃料は年額3、194、000円です。(仮称)小松ホテルについては、7月の当委員会でもホテル建設と都市公園廃止について報告されていますが、その後の進捗状況については何の説明も無く、議決事項ではないが20年間という長期契約であり、契約内容の詳細な説明を強く求め、しっかりと委員会でも審議するべきとの意見が出されました。また、駅東広場は設計中ですが、駅からサイエンスヒルズへの動線をごどのような形にしていけるのか、歩行者通路として安全が確保されるのかなど、広場の活用策については今後、進捗状況を丁寧の説明するよう強く求めました。

### ■最近の景気及び雇用状況について

小松商工会議所が行った労働事情実態調査において、製造業、建設業で人材が不足し、一部の事業者では残業、休日出勤が行われているとのことでした。

委員からは、人材不足による残業、休日出勤といった長時間勤務は、事故につながる恐れが、これからも小松商工会議所と緊密な連携を図りながら、対応していくようにと意見が出されました。

また、実態調査の結果、介護・福祉部門においても人材が不足しているとのことですが、回答が1社のみと少ないため、実態把握に努めるよう求める意見や離職率についても高校生・大学生ともに3割を超える状況であることから、インターンシップの強化など、長く働き続けられる環境整備を求める意見も出されました。

### ■小松市プレミアム付き商品券について

現在、プレミアム付き商品券の住民税非課税者の申請率は県下2位となっているとのこと。一方、手続きが分かりにくく、面倒といった点から、申請していない方もおられるとのことであり、販売期間は2月28日までですが、申請率の向上に向けて、引き続き、取り組みを求める意見が出されました。

## 特別委員会 調査報告

### 小松基地・空港対策特別委員会

委員長	灰田 昌典
副委員長	高野 哲郎
委員	新田 寛之
〃	梅田 利和
〃	片山 瞬次郎
〃	二木 攻
〃	川崎 順次

### ■在日米軍再編に係る訓練移転について

現時点では、小松基地における訓練計画はないとのこと。今後とも、訓練実施の際には、市民の安全・安心を図るため、これまで以上に安全対策、騒音対策を徹底し、飛行の安全や協定の順守を求めました。

訓練の実施については、小松市民にとって関心の高いことであることから、今後とも、速やかな情報提供に努めるよう求めました。

### ■令和元年度上半期の緊急発進実施状況について

10月30日に統合幕僚監部から発表された資料によりますと、令和元年度上半期の緊急発進回数は470回であり、昨年とほぼ同水準の状況となっております。

小松基地が所属する中部航空方面隊は19回、昨年比11回減でありました。

令和元年度上半期の特徴ですが、中国機に対する緊急発進回数は332回であり、前年度同期と比べ、13回減少し、ロシア機に対する緊急発進回数は135回であり、前年度と比べ76回減少したとのことですが、推定を含め、中国機及びロシア機では戦闘機に対しての緊急発進が多いとの報告を受けました。

近年、北朝鮮のミサイル発射実験が増加してきており、日本海にミサイルが落下するなど、その脅威が懸念されることです。

今後とも、防衛省及び小松基地との連絡をさらに密にして情報収集に努めるよう求める意見が出されました。

### ■前政府専用機(B-747)の貴賓室展示について

防衛省から貸与を受けた前政府専用機(B-747)の貴賓室については、6月頃から石川県立航空プラザ2階展示室にて再現、展示されるとのこと。

わが国初の政府専用機として、多くの要人が使用した貴賓室の展示方法については、機内がどのようなしつらえになっているかを体感できるような空間づくりに努め、多くの観光客を誘致できるように工夫を凝らすよう求めました。